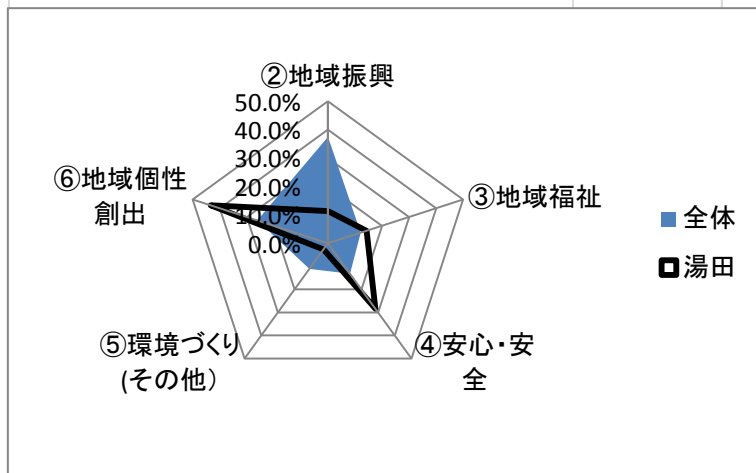


湯田地区コミュニティ運営協議会 地域づくり交付金事業概要(平成29年度)

■地域の情報			
地域人口	12969人	自治会数	15
世帯数	6037世帯	自治会加入率	76.66%

※数値は、平成30年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	9,194,000 円
交付金決算額	9,194,000 円
その他収入	144,015 円
交付金決算額／配分額	100.0%

各分野の決算

①協議会運営	3,812,999 円
②地域振興	494,108 円
③地域福祉	620,846 円
④安心・安全	1,232,444 円
⑤環境づくり(土木工事)	1,176,200 円
⑤環境づくり(その他)	114,492 円
⑥地域個性創出	1,886,926 円
決算総額	9,338,015 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

第2次地域づくり計画に基づき、「優しく、美しい、誰もが、安心するまちづくり」をキャッチフレーズに、より一層住みよい、協働によるまちづくりを推進していきます。

■総括

「第2次湯田地区地域づくり計画」に基づいて、各分野の事業をとどこおりなく推進することができました。特に今年度の新規事業である「住宅用火災警報器設置促進事業」では、地区内の各種団体がしっかりと連携しながら、自主防災となる火災警報器設置に向け取り組むことができ、地域における重要なポイントとなる地域づくり協議会の組織強化にも繋がるものとなりました。また、湯田地区全体の自主防災組織の立ち上げに伴い、各町内会の連携のもと、総合避難訓練が実施できたことも防災意識の高揚と合わせ、組織強化という観点からも大きく評価できる事業であったと認識しています。

最後に、年度末に事業等の振り返りを行う中で、これからの地域づくりに必要な事項を洗い出し、今後の事業計画に反映させることで地区の課題解決に一歩でも繋げていけたらと考えています。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局の運営体制
② 地域振興	広報誌の発行、ホームページの更新、地域づくり研修、健康福祉部会視察研修
③ 地域福祉	ふれあい会食会、高齢者事業の充実、生涯学習の推進、ふれあい型給食サービス事業、スポーツを楽しむ日、球技大会、少年綱引き大会、世代交流事業、母子保健事業
④ 安心・安全	自主防災活動支援(住宅用火災警報器設置促進)、防災・減災活動等の推進(湯田地区総合避難訓練&安心安全フェスタ)、防犯活動の推進、校区内巡回活動・子ども110番、反射鏡設置等補助事業
⑤ 環境づくり	法定外公共物整備事業、環境美化活動、湯田中クリーンアップ大作戦
⑥ 地域個性創出	第53回湯田地区町内親睦大運動会、ふるさとづくり推進協(ミステリーハイキング、塩作り体験学習等)、熊野公園里山づくりの会、湯田の歴史発掘・維新関連事業、行事用品等整備

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	防災・減災活動等の推進事業	決算額	650,000円
	目的	地域の安心安全に対する意識の高揚を図る。		
	実施内容	警察・消防等関連機関及び地元関係団体の連携のもと開催する「ふれあい安心・安全フェスタ」に合わせ、湯田地区自主防災組織の立ち上げに伴う総合避難訓練を同時実施。		
	実施時期	平成29年9月24日		
	参加人数	約750名		
	成果	各種イベント及び総合避難訓練を通じて、安心安全に対する意識の高揚を十分図ることができた。		
	評価	フェスタのイベントについては、各関連機関と地域住民との親睦・連携を深めることができた。また、町内会主導による避難訓練においても、しっかりとした協力体制が整っていた。		
	今後に向けて	当イベント日を「湯田地区防災の日」と位置づけ、更に充実したものにしていきたい。		
②	事業名	住宅用火災警報器設置促進事業	決算額	400,444円
	目的	自主防災の意識付けと実際の備えについて取り組む。		
	実施内容	住宅用火災警報器の設置に向け、地区をあげて促進していく。		
	実施時期	年間を通して		
	参加人数	湯田地区住民対象		
	成果	昨年度から設置に向け準備を進めてきた事業であり、本年度から本格的に実施することができた。設置希望者も予想以上に多く、自主防災の意識付けにも繋がった。		
	評価	火報器設置に向け、地区内の各種団体がしっかりと連携して取り組むことができた。		
	今後に向けて	これからもしっかり地区住民に周知しながら、火報器の設置に取り組んでいくとともに、合わせて設置率向上にも繋げていきたい。		
③	事業名	湯田の歴史発掘・維新関連事業	決算額	506,610円
	目的	郷土の歴史に対する理解と関心を高めるとともに、郷土愛を育むことで地域の連帯感や絆を深める。		
	実施内容	郷土の歴史について学ぶ講演会や維新関連をめぐるバス&ハイクを開催。		
	実施時期	平成29年8月26日・11月25日		
	参加人数	・講演会 98名 ・バス&ハイク 32名		
	成果	維新関連に係る人物について「語り芝居」という形で講演会を実施したり、維新関連の地をめぐることで、参加者全員が郷土の歴史に対する関心を高めることができた。		
	評価	明治維新150年という中で、郷土の歴史というものに対し、改めて関心を高めることができた。		
	今後に向けて	今後も継続的に事業実施することで、郷土の歴史というものを引き継いでいきたい。		